

西濃地区家庭教育応援通信

No. 5

令和3年7月2日発行

みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係

家庭教育担当：酒井 俊巨

電話：0584-73-1111 <内線212>

バックナンバーはこちら ⇒



令和3年度 西濃地区家庭教育学級リーダー研修会

QRコードから動画視聴・資料確認



初めての「在宅型」研修

受講ありがとうございました。

アンケートは、現在、集計中です。

通信でお知らせします。

限定動画・受講確認・アンケートは、6月30日(水)に終了しました。

大垣市PTA 連合会 広報委員会 出張授業

PTA のペーパーレス化を目指そう！

令和3年6月21日(月)18:30~20:00

【講師】大垣市PTA 連合会 広報委員長 須田山 智成 様

【受講】大垣市立西小学校 PTA



講師の須田山様は、大垣市立江並中学校PTA会長をされた時、PTA 役員の負担の軽減と経費の削減、SDGs の取組等のために、会議資料やPTA総会の議決をペーパーレスで行いました。また、昨年度は、コロナ禍において、一番最初にYouTube 限定配信で家庭教育学級を開催され、しかも、スマートフォンだけで、録画・編集・配信まで行いました。(詳しくは、右のQRコードからご覧ください)

今では、誰でも使えるネットワークサービスが増えています。西小学校のように、まずは何ができるか情報を集め、そこから実践していくという姿勢が素晴らしいですね。次号で紹介する予定ですが、西小学校は、6月末にZOOMによる料理教室を実施しました。



西濃地区家庭教育応援通信
「みんなで子育て」No.6
令和2年8月1日発行



「WITH コロナでの新しい家庭教育学級」として、江並中学校のオンライン開講式の様子とYouTube動画のアップロードの方法を掲載しています。

神戸町立下宮幼稚園 家庭教育学級

暮らしの中の防災



【講演会型】YouTube 限定配信による動画視聴

動画視聴期間 令和3年6月25日(金)～7月12日(月)

zoom などの双方向通信ネットワークの利用には、アプリが必要なことがあります。動画配信なら、ネットワークにつながっていれば、視聴することができます。
今回、zoom 開催の環境が整わなかったため、講師はズームを使って録画したものを YouTube にアップしました。



長子配布
保護者各位

令和3年6月25日

下宮幼稚園保護者会
会長

保護者会研修会（講話）のご案内

平素は、保護者会活動にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、今年度の講話は、新型コロナウイルス感染症防止のため、動画での開催とさせて頂くことになりました。

保護者の皆様には何かとご多忙とは存じますが、ご視聴下さいませよう、よろしくお願い申し上げます。

視聴期間 6月25日(金) 12時～7月12日(月) 20時まで

※Wi-Fi 環境でご覧下さい。
※パソコンは URL アドレス、スマホ・タブレットは QR コードでご覧になります。
※ご不明な点などありましたら、役員にお尋ね下さい。

講師：清流の国さぶ 女性防災士会
会長 伊藤 三枝子 先生

地震・水害・台風（基礎知識編） 約 16分
備蓄品・持ち出し袋・こどもたち 約 16分



このQRコードは
サンプルです。



<https://youtube>

<https://youtube>

※アンケート用紙も配布しますので、7月13日(火)までに、長子クラスにご提出下さい。ご協力よろしくお願い致します。

「一歩前進」

- ・ 保護者会の会長さんは、幼い子どもをもつ家庭の防災について話していただける講師を探していました。西濃県事務所に電話で相談があり、女性防災士を紹介しました。
- ・ 当初は、保護者が幼稚園の遊戯室に集まったの研修会を考えてみましたが、コロナの状況が分からないため、確実に開催できる YouTube 動画の配信に変更しました。

備蓄品と持ち出し袋の違い

避難時に**すぐに持ち出す**「非常用持出袋」
避難所に無事に着き、数日過ごすためのもの。

避難生活時困らないために**備える**「備蓄品」
救援物資が届くまでの、食料や生活用品を備える。
断水や停電、ガスの停止などへの備えも必要。

※家族全員で避難生活する

1日生活するために必要な量を知っておく

子どもたちの心

テンションが高い
おねしょをする
一人ではいられなくなった
小さい余震でも抱きついてくる
暗いところ、狭いところへ、逃げたところへ、エスカレーターも揺がる

とても自然な事

視線を合わせて落ち着いて

地震ごっこ
お葬式ごっこ
そんな遊びも自然です

ハッピーエンドを持って行く

持ち出し袋は家族に1つずつ、命の次に大事なものをに入れておくことなどの配慮や、災害時の子どもたちの心に寄り添うことなどを学びます。

災害を知って、命を守ろう

地震・台風・集中豪雨

【講師】

清流の国岐阜女性防災士会 会長
伊藤 三枝子 様

地震・水害の状況をイメージし、命を守ることを最優先に、今できることを考えます。

避難のタイミング

令和3年5月20日から変わりました

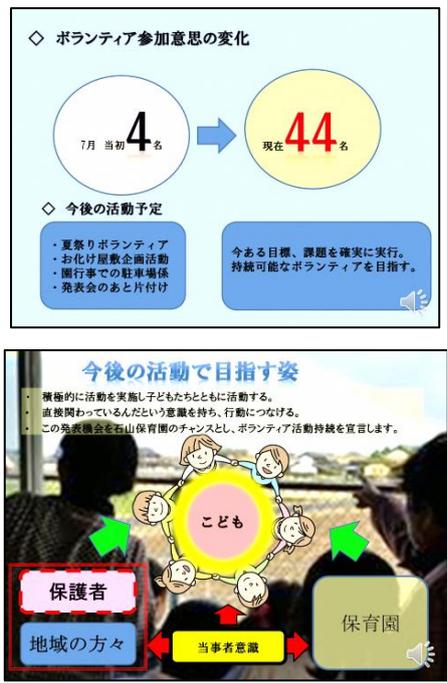
警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確信したときに発令)
4	避難指示 ※2	+避難指示 (緊急) +避難勧告
3	高齢者等避難 ※3	避難準備・高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 緊急安全確保 ※2 避難指示 ※3 高齢者等避難

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/poster.pdf

令和3年度「在宅型」リーダー研修会 実践発表

実践発表者の皆様、プレゼンの作成から動画配信の準備まで、ありがとうございました。また、実践発表のプレゼン動画をみていただいた皆様、ご視聴ありがとうございました。会場開催であったときにお話しさせていただき予定だった4つの実践発表から「学びたいこと」を紹介させていただきます。

動画発表者	学びたいこと
<p>神戸町立下宮幼稚園 高田 佳代子 様 松岡 久恵 様</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 神戸町は4園が合同で研修を行っています。子育ての悩みが共有でき、意見交流の場も広がり、ふれあいの輪が広がっています。 ➤ 下宮幼稚園は、「心も体も 元気いっぱい 下幼っ子」というテーマで、「食育」と「読書」に取り組んでいます。 ➤ 丈夫な体で元気に過ごすには「食育」の充実が大切。「ねばならない」から脱却し、楽しい食事作り、楽しい食卓にしていることを学びました。 ➤ 「読み聞かせ」は、心の成長に効果的です。「親子ふれあい週間」での記録用紙の工夫は、参考になると思います。読み聞かせをすることで、一緒に過ごす時間がつくれ、ふれあえるとてもよい取組です。幼児期だからこそ、このような温かい時間を持ちたいものです。 ➤ ボランティアの方による読み聞かせやおすすめの本の紹介も心を育てる点でとても大切です。ぜひ続けてほしいと思います。これはコロナ禍であってもできる在宅取組型の好例です。
<p>認定こども園 石山保育園 前園 大介 様</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 保護者会会長は、保護者会の挨拶の中で、「今まで保護者が園行事のお手伝いをしていた部分を、保護者会が自主的にやることを通して、保護者同士のつながりを作っていきたい」と呼びかけられました。この呼びかけは、すべて園主体で保護者は参加するのみに終わっていることを何とかしようという思いからでした。「仕事を持っているので保育園に預けている。だから、できないのではないか。」という意識から、「できる人から協力しよう。」「園を支える一員になろう。」という思いへの変化がボランティアの人数を増やすことにつながったのだと思います。 ➤ こうした「何かできることはないか」という思いは、コロナ禍での家庭教育学級を進める私たちの大きな推進力となっています。「前年と同じようにできなければ、中止するしかない」ではなく、「何かできることはないだろうか。」と考える姿勢を学びたいと思います。

動画発表者	学びたいこと
<p>揖斐川町立谷汲小学校 杉山 由香 様</p>   	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 谷汲小学校の家庭教育学級は、谷汲中学校と合同で進めておられます。西濃地区家庭教育学級リーダー研修会の分科会で小学校と中学校が同じグループになり、小中合同の家庭教育学級を行ってはどうかという話になったところから始まりました。リーダー研修会での出会いから生まれた取組が谷汲小・中学校の伝統となっていくことを期待しています。 ➤ 令和元年度、小中合同の家庭教育学級が初めて開催されました。お子さんが、夏休みの学校のプールに行っている時間を使って、茶菓子を食べながらサロンを行うというのは、時間をうまく使ったアイデアです。さらに参加者を増やすために、保護者が興味をもっている「アロマ講座」を加え、「子育てサロン型」+「体験活動参加型」という型の組み合わせで行いました。生み出せる時間はどこかにあると教えられた事例です。 ➤ サロンは、机を寄せて配置されていたので、始まる前から小中の保護者が混じって話が始まるという理想的な形でした。コロナ禍で今はこのような形は難しいですが、これからも顔の見える関係づくりを工夫されていくと思います。
<p>大垣市立星和中学校 堀 麻紀 様</p>  <p>家庭教育学級をよりよいものにするために大切なこと</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) イメージ の共有 (2) 目指す姿 を口にすること (3) 先生方との事前からの協力 <p>プレゼンのスライドショーを録音する星和中学校の成人教育委員長</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「家庭教育学級」というと、講演会か、あるいは、ものづくりと思いがちですが、「先生との茶話会」は、思いつきそうでなかなか実現しない内容です。茶話会形式で行い、先生から趣味や愛読書等を聞くことで、互いに親近感が生まれ、先生との距離が縮まりました。また、先生から話を聞くだけでなく、学年ごとに先生を囲んで、「家で学校の様子を話さない子はどうすればよいか。」「子どもの職業をどうすればよいか。」といった子育ての悩みを話し合うなど、様々な意見を交流したり、質問や助言をし合ったりする場となりました。こうした双方向のやりとりは、人とのつながりを強くしますし、悩みも出やすくなります。和気あいあいとした雰囲気づくりができたのは大成功だったと思います。 ➤ イメージを共有し、目指す姿を確かな実践につなげていこうとすることの大切さを、この発表で示していただきました。 ➤ コロナ禍で開催が難しくなってしまった「子育てサロン型」ですが、終息した時にはぜひ取り入れてほしいものです。